

令和6年度 第2学年 3学期学年末テスト出題範囲表

日時	教科	範囲	学習のポイント	その他の連絡 (提出物など)
2月19日(水)	1校時	技術 ・教科書 p198～215 ・ノート p98～106	☐ ノートの問題に繰り返し取り組む。	技術ノート 提出 2/19テスト後
		家庭 ・教科書 P128～P167 ノート P64～P73	☐ 教科書をよく読んでおく。ノートに取り組む。	
	2校時	美術 ・一年間のまとめ問題 ※1・2学期の復習問題が中心になる予定	☐ 学年末のテスト対策プリントが出れば、それを頑張る。 出なければ、1・2学期の対策プリントをそのまま利用。 ☐ 2学期同様に、記号問題でA I 読み取り採点です。 くせ字の人は必ず直して、間違いなく読み取れるカタカナ を書けるようにしておくこと。今後のためにも。	「絵文字」は 今学期 いっぱい やります
	3校時	保体 ・教科書 P98～107、P112～117、P178 ・ノート P35, 37, 39, 41, 43, 46, 47, 51, 53, 55, 56 P66, 82 ・ビジュアル P110, 111, 124, 125, 253 ・学習プリント、ワークシート	☐ 喫煙、飲酒、薬物乱用について、各特性を確認する。 ☐ 運動やスポーツの意義等について、説明できるようにする。 ☐ バスケットボールの「パス」「ドリブル」「規則違反」の名称を答えられるようにする。 ☐ 柔道の「体さばき」の名称を答え、説明できるようにする。	ノート テスト実施日 の放課後、保 体委員が回 収、提出
	4校時	音楽 ・言葉の発音について(合唱のプリントの○○で始まる言葉の表) ・立志式の学年合唱から「種」(楽譜) ・交響曲第5番ハ短調(上 P44～49、プリント) ・アルトリコーダー「虹の彼方に」(器 P27、プリント)	☐ 合唱のプリントの言葉の発音(○○で始まる言葉)について確認しておくこと。 ☐ 「種」については、作曲者の言葉(6ページの横に貼ったもの)と歌詞をよく確認すること。 ☐ 「交響曲第5番ハ短調」の楽曲や作曲者について、プリントの内容をよく理解しておくこと。また、音符や記号について整理しておくこと。 ☐ オーケストラで使われる楽器を書けるようにすること。 ☐ アルトリコーダーは、「虹の彼方に」の楽譜から運指を答えられるようにすること。	
2月20日(木)	1校時	数学 ・教科書 P103(多角形の内角の和)～146 ・ワーク P84～105	☐ 基本的な四則の計算、文字式の計算、方程式の計算、関数の式を求める計算などができるようにする。 ☐ 多角形の内角の和、外角の和について理解する。 ☐ 基本的な証明がかけられるようになる。	授業ノート ワーク 2/20(木) 提出
	2校時	社会 【地理】 教科書: P222～249 ワーク: P44～55 【歴史】 教科書: P170～199 ワーク: P26～34	☐ 「きじゅちゅまあち」を完璧に覚えましょう。 ☐ ワークとプリントを完璧に仕上げましょう。 ☐ グラフや図表を確認しておきましょう。 ☐ 教科書を最低4回は読みましょう!!!! ※漢字指定があります。教科書の太字は漢字で書けるように練習しましょう。	ワーク提出は 授業中に指示 します。
	3校時	理科 ・教科書 P215～285、72～81 ・「基礎をきずく」No.16～20、7、 電流と電圧、オームの法則、電力・熱 量・電力、電流と磁界、圧力 ・冬休み帳「ホンキの冬」	☐ 冬休み帳「ホンキの冬」のA問題。語群がある問いだけでなく、語群のない問いも解けるようにしましょう。 ☐ 教科書の太字は漢字で書けるように練習しましょう。 ☐ 「基礎をきずく」の問い、計算がスラスラと答えられるよう、 何度も解いておきましょう。	なし
2月21日(金)	1校時	英語 Unit5(3)～Let's Read2 教科書: P.P.76～104 ワーク: P.P.76～101 ※リスニングあり。	☐ 新出単語・連語をしっかりと覚え、書けるようにする。 ☐ 比較表現の文法をしっかりと理解しておく。 ☐ A Glass of Milk のストーリーを整理しておく。 ☐ 授業で配布するテスト対策プリントをしっかりチェックしておく。	ワーク 2/21(金) 提出
	2校時	国語 ・教科書 P158～P161(仁和寺にある法師) P162～P168(漢詩の風景) P196～P213(走れメロス) P220～223(言葉3、漢字3) P238～243(用言の活用) ・書写教科書 P33 ・漢字 P31～P42 ・ワーク P108～P119、P132～136 P138～P147、P154～P155	・小説…音読し、内容を振り返ること。ワークの解説をよく読み、 なぜその解答になるのかを理解すること。 ・古典…歴史的仮名遣いや単語の意味を確認すること。音読をし っかりと行い、古典特有の言い回しや言葉に慣れること。 ・漢字、言葉、文法…教科書、ワーク、プリントを使って繰り返し 復習すること。	なし